

令和2年 3 月 31 日

政務活動費行政視察報告書

視察期日 令和元年8月8日～令和元年8月9日

視察地及び項目 兵庫県西宮市・大阪市阿倍野区

1. 被災者支援システムの運用について
2. 大阪市立阿倍野防災センター見学

視察参加者 (氏名) 吉川義郎 西川和男 今村弘志

視察内容 ○災害時における西宮市の被災者支援システムの運用による円滑な支援のあり方について
○大阪市立阿倍野防災センターを見学し、防災意識向上の取組について

報告者 (氏名) 西川 和男

西宮市の支援システムは、全国の模範となっています。

じっくりと4時間に及ぶ研修となりました。

いざ災害時、どう対応するのか。ICTを駆使し、きめ細かな情報の一元化を目指します。

被災者支援システムは、西宮市が独自に現場での体験から作り出されたもので、極めて具体的です。しかも全庁の各課の情報が一元化されたことで、縦割りが横断化し、福祉や教育までの情報が共有化されています。



いざ災害という時、この一元化された情報が、被災者支援に発揮されることとなります。

そのためには、具体的な実践的な訓練を日頃から実施することが、極めて重要であるとのこと。

例えば一律ではなく、その地域に特化したより具体的な訓練が必要と。

たくさんのことを学びました。

少しでも早く志木市においても、実践に移していかねばと強く思ったのでした。

さらに大阪市立阿倍野防災センターを見学。

資料の展示、体験コーナーなど充実した内容でありました。

平時からこうした防災センターで学び、体験することは、防災意識向上にたいへん役立つことを痛感。

防災とは、常日頃からの備えとこうした防災学習がとにかく大切であることを兵庫、大阪での視察で強く学んだところです。



令和2年 3 月 31 日

政務活動費行政視察報告書

視察期日 令和元年 11 月 7 日～令和元年 11 月 8 日

視察地及び項目 鹿児島県霧島市

1. 全国都市問題会議

(視察内容)「防災とコミュニティについて」

視察参加者 (氏名) 西川 和男

視察内容 別紙のとおり

報告者 (氏名) 西川 和男

(視察内容)

災害時の地域別の情報発信のあり方やコミュニティの防災力は個人個人の防災力を高めていくことが、重要であるかを学び、また自助と共助をより高めるための具体的な取



り組みをどう進めていくかを改めて学ばせていただきました。

パネルディスカッションでは、各自治体の防災対策への取り組みが報告されました。

やはり大切なのは、いかに個別の地域の防災力を高めていくか。そこにどう具体的に進めていくか。

いくつもの示唆に富んだお話しを聴くことができ、たいへん参考になる研修となったのでした。

